



園庭から「満員、満員」という声が聞こえてきました。2歳児の2人の子どもが蛇口を一つずつ使い、持っていた容器に水をエンドレスで汲んでいます。その後ろには容器を持って順番を待つ子がいました。2人は、後ろに来た子が水を汲みたいことを察知したものの、自分たちもまだやりたいという譲れない思いがあり、「満員」という言葉で表現したのでしょう。その言葉に“まだだめよ”“わたしが使っているのよ”“もうちょっと待っていてね”等どの思いが込められているかは定かではありませんが、2歳児なりの精一杯の思いを感じました。後ろに待っていた子どもには別の水道を案内し、お互いのやりたい思いを叶えることができました。その後しばらくして2歳児クラスが室内に帰る時間になりました。さっきとは別の子が水道から離れず遊んでいます。担任が「ご飯食べにお部屋に行こうか」と声を掛けても頑なに動こうとしません。もしかすると、さっきまでずっと水道が空かずずっと遊び始めたところなのかもしれないと思ったので少し様子を見ることにしました。その子はひたすら容器に水を入れてはこぼしを繰り返したり水の流れを見たりしていました。どのくらい時間が経ったでしょう、自分から「おしまい」と呟き、迎えに来た保育士と手をつないで帰って行きました。その後ろ姿に心が温くなりました。

大人が譲れるように仲介したり時間で区切ったりするのではなく、一人ひとりの子どものやりたい思いや満足感を保障できるよう、職員皆でその都度相談し工夫し合いながら見守っていきたいと思いました。



7、8月の行事

プール開き
七夕会
プール閉い

中旬 身体計測・避難訓練

2階ホールの紹介

昨年まで2歳児クラス（白グループ）として使用していた部屋を体を動かして遊べるように設定して全クラスで使用しています。



巧技台の滑り台



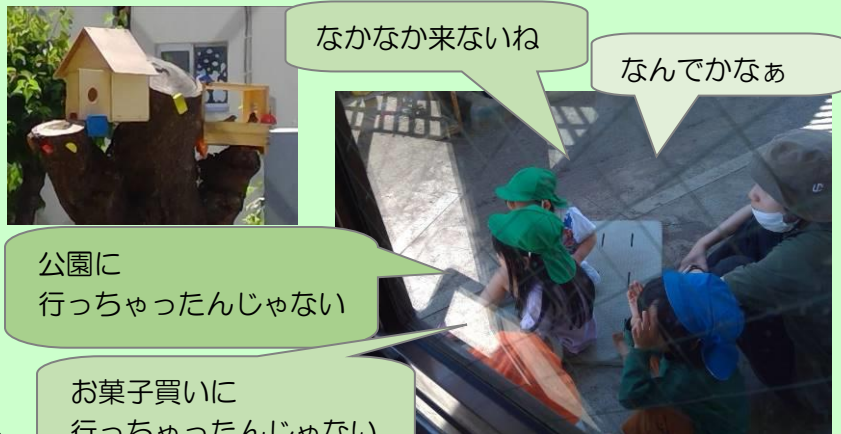
大人気のトランポリン



広いスペースでボールを追いかけて這い這い

【鳥小屋に小鳥たちが遊びに来ました】

～子どもたちに小鳥が来たことを知らせると、自分たちも“小鳥の姿を見たい”とそっと観察していました～





おまつりごっこ

旧学童クラブ室が使用できるようになったので、今年は3階を使用して行いました。初めての場所で最初は緊張気味の子どもも、楽しい雰囲気の中、目をキラキラさせながら夢中でお店を回っていました。



すずらん組（1歳児クラス）

“自分で持つ”と『マイバック』をしっかりと持って嬉しそうに出かけました。自分で釣った金魚やザリガニ、お持ち帰りのクレープも大事そうにバックの中に入れていきます。買い物した後は試食コーナーで「みてー」とバックの中から嬉しそうに出して見せてくれました。特にかき氷がお気に入りです。スプーンですくって「おいしいね」と食べる真似をしたり、保育士にもお裾分けをしてくれました。おまつりの雰囲気を友達や保育士と一緒に沢山楽しんだ子どもたちです。



ちゅうりっぷ組（2歳児クラス）

鉄板焼きのお店に行き「いらっしゃいませ」と言われると「これください」とイカ焼きや焼きそばを選んでいきます。このやり取りが楽しくて食べ終わるとすぐにまた「これいい?」「つぎはこれ」と何度も“お買い物”を楽しんでいました。部屋に戻ると早速お店屋さんごっこが始まりました。ウレタン積み木にチェーンリングの焼きそばや長いお手玉のソーセージなど見立てた具材を乗せ、焼き物屋さんになりきっていた子どもたちです。



おまつりのあとに。。。 ひまわり組（5歳児クラス）

おまつりごっこを経験し、その日の夕方には「店員さんをやりたい」という声があがっていました。そこで今度は自分たちがお店屋さんなり「おまつり」を開く計画が始まりました。友達とどんなお店にするか相談したり「服を作りたいから大きい紙が欲しい」など材料のアイデアも出し合ったりしました。自分たちで工夫して作った商品ができると、次は「お客さんを呼びたい」という声があがり、小さいクラスを招待することになり招待状も作りました。数日間の準備を終え、いよいよひまわり組によるおまつりごっこの当日です。半被を着て一人ひとりが好きなお店の店員になり開店です。

「いらっしゃいませ」と呼びかけたり、照れながらも遊び方を説明したりと大張り切りでした。“お客さんがいっぱい来ても大丈夫ように”と作った折り紙のお土産も誇らしげに渡していました。たくさんのお客さんに楽しみながら接客できたのは子どもたちの「やってみよう」という気持ちがあったからこそだと感じました。

また別の日は、おまつりごっこで見た職員の太鼓を真似て“ひまわり組版ぶち合わせ太鼓”が始まりました。動きやたたき方、構える姿勢も様になっていました。

友達との共通体験を通し、一緒に遊びにする力がついてきた子どもたちの姿に成長を感じています。

どれが良いですか？



♪ スットン スットン
ドーン ソーレ ♪